

保存用

お手入れ

<器具のお手入れについて>

器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。

台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないととも、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。



警告

- ・電源を切ってから行う。(感電の原因)
- ・高圧洗浄機等により、器具を直接洗浄しない。(器具内部に浸水し、絶縁不良による感電や器具腐食の原因)



注意

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

お知らせ

- ・LEDやグローブにはパラツキがあるため、同形状の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・LEDの短寿命のおそれがあるため、直射日光が当たる時間帯は点灯しないでください。
- ・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては色ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- ・器具毎に壁面照射部の色味が異なる場合があります。ご了承ください。
- ・重耐塩仕様とは、常時、飛来塩分が高濃度の地域に求められるレベルです。(目安は海岸より0~200m程度の範囲ですが、耐食性を保証するものではありません。)建物の軒下等、海水の影響を受けながらも雨水を受けない場所では、付着した塩分が流れ落ちないため、腐食が進みます。安全使用のため、器具上部からの散水による定期的な洗浄および点検ができるように設置してください。

故障かな?と思ったら

Q "ピシッピシッ"という音がする。

A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。

Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。

A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

- ・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。

- ・無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。



三菱 LED 照明器具 (天井・壁付兼用)

LED 防雨形シーリング (重耐塩)

形名 EL-WC1003N AHN EL-WC1003L AHN

取扱説明書・据付工事説明書 販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

もくじ

安全のために必ず守ること	1~2
お願い	2
各部のなまえ	2
据付場所の選定	2
取付方法	2~4
据付工事後の確認	5
試運転	5

お客様への説明	5
仕様	5
お手入れ	6
お知らせ	6
故障かな?と思ったら	6
保証とアフターサービス	6

施工者さまへ

この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わない てください。		必ず指示に従い 行ってください。
--	-------------------	--	---------------------

異常時の
処置

警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

☎相談窓口 照明技術相談センター

☎ 0120-348-027 (無料)

受付時間 9時~17時(土・日・祝日は除く)

FAX (0467) 46-8861

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わない。 (劣化による落下の原因)	禁止	業務用浴場には使用しない。 (絶縁不良による感電の原因)
	サウナなど高温・高湿になる場所には使わない。 (指定外の取付けは絶縁不良による感電・火災の原因)		器具取付面(クロス貼り・コンクリート)が乾燥不十分の場所に取付けない。(絶縁不良や錆により、感電・落下の原因)
	表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)	厳守	電気工事の際は、電源を切る。(感電の原因)
	調光器(ライトコントローラー)と併用しない。 (火災・感電の原因)		グローブを真っ直ぐに取付ける。 (斜め取付け・不完全な取付けは、水気・湿気が入り感電・落下の原因)
	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)		

お願い

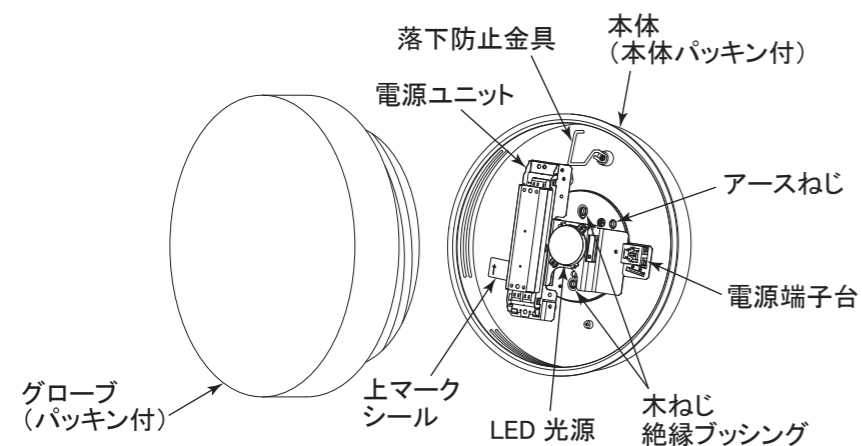
- ・周囲温度は-10～35℃の範囲でご使用ください。
- ・腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
- ・グローブに入浴剤、殺虫剤、殺菌剤をかけないでください。グローブの割れや劣化の原因となります。
- ・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- ・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する場合があります。
- ・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組み合わせるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。接点タイプ人感センサスイッチを使用してください。

各部のなまえ

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う
(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

図は一部省略、抽象化しています。

- グローブの表面は飛散防止コーティング加工されています。グローブをコンクリートなどの硬い凹凸のある面に直接置かないでください。グローブ表面が傷付きますと、飛散防止効果が低下するおそれがあります。



【付属品】

	・木ねじ	2本
	・絶縁ブッシング	2個
	・保護チューブ	2本

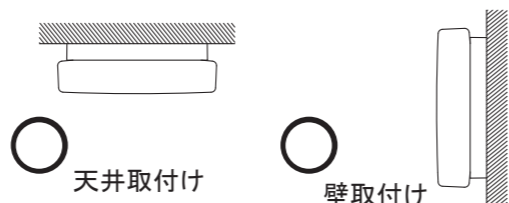
据付場所の選定

- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食ガスやオゾンが発生しない場所
- ・器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- ・取付面が本体パッキン外径(Φ130)より大きい場所
- ・油煙のない場所
- ・背面より水のかからない場所、水没しない場所
- ・その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

1 取付け前の確認

- ・回転式のためグローブの取付けは、回転範囲を考慮する。
- ・この器具は天井、壁取付けで使用できます。
- ・器具質量(約3.2kg)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
- ・器具を取付けるときは、本体パッキンを取付面に密着させる。
- ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、絶縁板を使用し器具の金属部分と電氣的に接続しないようにする。



据付工事後の確認

- ・据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません。)

チェック内容	チェック欄
電源線を電源端子台の電源線差込穴に確実に差込んでいますか。	
アース工事を確実に行っていきますか。	
本体パッキンの外周部全周を防水シール剤で埋めていますか。	
取付面と本体パッキンとのすき間を防水シール剤で埋めていますか。	

試運転

- ・お客様立ち会いで試運転を行ってください。スイッチ ON,OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

- ・取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー・ゼネコン)や管理人などに説明してください。

仕様

形名	定格電圧	周波数	入力電流			消費電力
			100V	200V	242V	
EL-WC1003N、EL-WC1003L	AC100-242V	50/60Hz	0.169A	0.085A	0.071A	16.5W

お客さまへ

この説明書をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電・落下の原因)	禁止	引火する危険のある雰囲気では使わない。(火災の原因)
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)		器具を覆わない、グローブに何も貼り付けない。(過熱による火災の原因)
	器具を布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)	厳守	グローブに塗料などを塗らない。(過熱による火災の原因)
	器具の直下及び付近にストーブなど高温になるものを置かない。(過熱して火災の原因)		煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)		

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

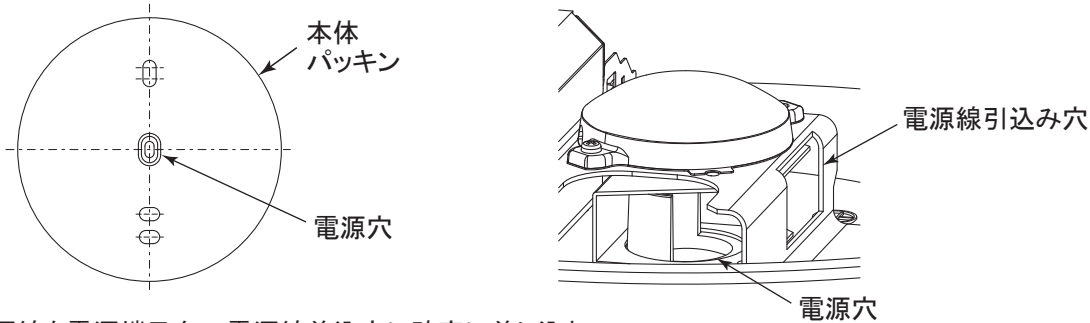
禁止	光を直視しない。 (長時間直視すると目を痛める原因)	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。(発火・感電・落下の原因) 不具合があったら、そのまま使用しないで工事店または電気店に修理を依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ・LED光源は寿命が来てても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。 <p>※使用条件は周囲温度 30℃、1日 10時間点灯、年間 3000時間点灯です。(JIS C 8105-1 解説による。)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。 ・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。 	

警告

- ・器具質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)
- ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、絶縁板を使用し器具の金属部分と電氣的に接続しないようにする。(感電・火災の原因)

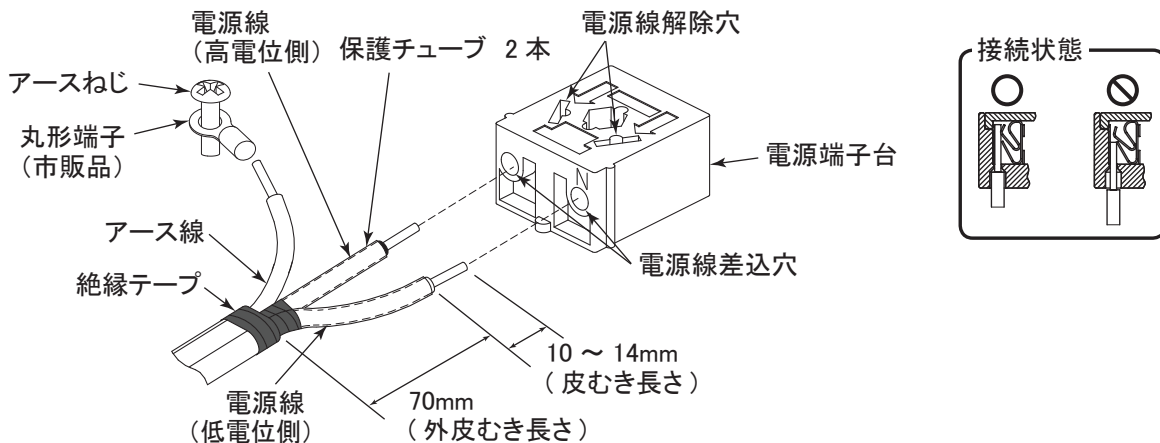
2 電源線、アース線の接続

- (1) 付属の保護チューブに合わせて被覆をむいて、電源線に保護チューブを通し、分岐点に絶縁テープを巻き付ける。
- (2) 電源穴に電源線・アース線を通してから、電源線引込み穴から電源線・アース線を引き込む。



- (3) 電源線を電源端子台の電源線差込穴に確実に差し込む。

- ・適合電線: $\phi 1.6\text{mm}$ VVF単線 $\phi 2.0\text{mm}$ VVF単線
- ・送り配線はできません。送り配線は器具外で行う。
- ・電源線を取り外すときは、電工ドライバー(中)を電源線解除穴に差し込み電源線を引き抜く。



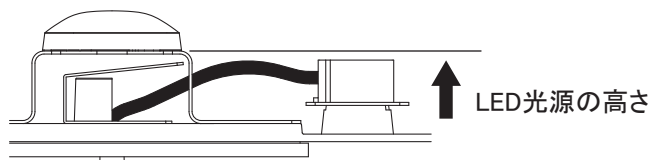
- (4) アースねじからD種(第3種)接地工事を確実にを行う。

警告

- ・D種(第3種)接地工事を確実にを行う。(接続不備は感電の原因)
- ・アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)
- ・電源線は、適合電線を指定長さに被覆をむき、一本ずつ電源線差込穴の奥まで差し込む。(保護チューブの取付忘れは高温になるため感電・火災の原因)(差し込み不十分は接触不良により感電・火災の原因)
- ・電源線に付属の保護チューブを通し、分岐点に絶縁テープを巻き付ける。(絶縁不良、火災の原因)
- ・保護チューブの位置ずれ防止のため絶縁テープで巻き付けて固定する。(固定が不十分な場合、感電・火災の原因)
- ・電源線を電源端子台の電源線差込穴に確実に差し込む。(接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因)
- ・電源線接続の際は、電源線に張力がかからないようにする。(接続不良による発熱で火災の原因)
- ・電源線引込み穴以外から電源線・アース線は引き回さない。(高温による火災・感電の原因)

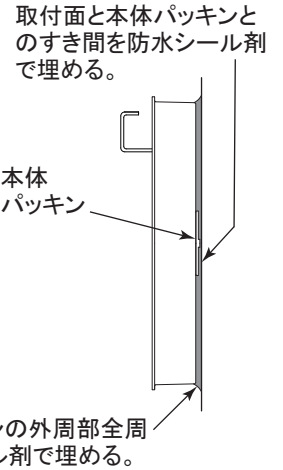
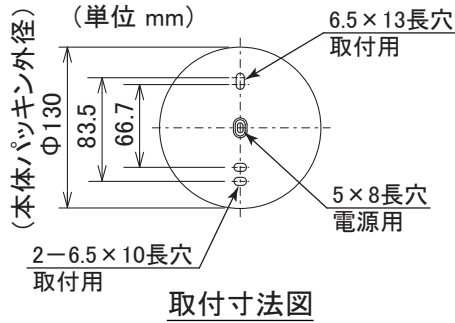
【お願い】

電源線、アース線はLED光源の高さより高くないようにしてください。
グローブに影が発生することがあります。



3 器具の取付け

- 本体を付属の絶縁ブッシング、木ねじで天井又は壁面に取付ける。
 ※壁面取付けの場合、天井から15cm以上離れたうえで、本体の上マークシールの方向に従って取付ける。
 (落下防止金具が必ず上になるように取付ける。)
- 防水シール剤で本体と取付面の間を完全に埋め、確実に防水する。
 (本体パッキンの外周部全周を必ず防水シール剤で埋める。)
- 取付面と本体パッキンとのすき間を必ず防水シール剤で埋める。

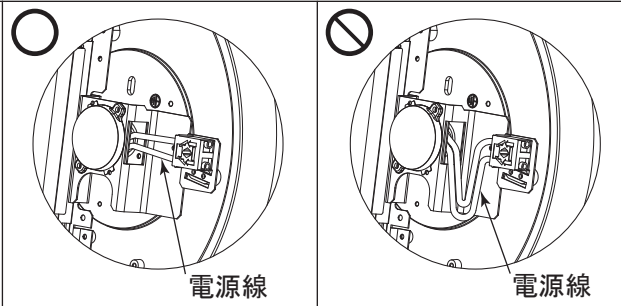


警告

- 指定方向以外の向きに器具を取付けない。(落下・感電・火災の原因)
- 本体を確実に取付ける。(取付けが不完全な場合落下の原因、水気の浸入により感電の原因)
- 天井内や壁内に電線などが配線されている場合は、木ねじで電線をキズつけない。(感電・火災の原因)
- 取付面と本体パッキンとのすき間を必ず防水シール剤で埋める。(不完全な場合は、感電・火災の原因)
- 本体パッキンの外周部全周を必ず防水シール剤で埋める。(不完全な場合は、感電・火災の原因)

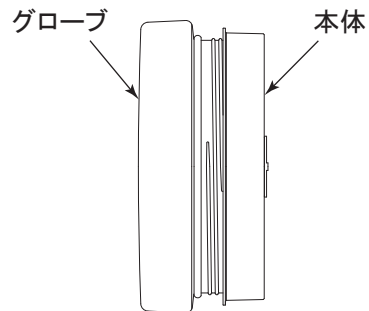
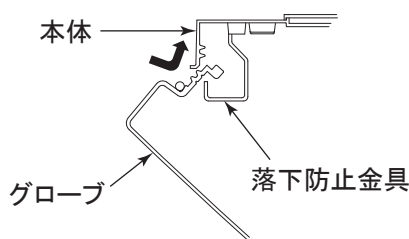
注意

電源線が余らないように天井内又は壁内に押し込む。
 (押し込みが不十分な場合は絶縁不良・火災の原因)



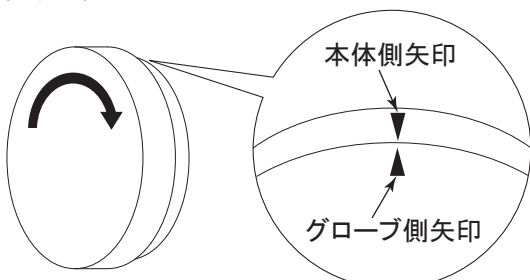
4 グローブの取付け

- グローブを斜めにして落下防止金具にくぐらせる。
- グローブが本体に対して水平になっていることを確認する。



- グローブ側矢印と本体側矢印が合うところまで時計回りに回してグローブを確実に締め込む。

- 壁取付けの場合、本体側矢印とグローブ側矢印が天井側に位置しますので、器具の上から確認する。本体側矢印とグローブ側矢印が確認できるように天井から15cm以上離して器具を設置する。



警告

グローブは矢印を合わせるまで締める。
 (不完全な取付けは落下、感電の原因)

注意

グローブを真っ直ぐに取付ける。
 (斜め取付け・不完全な取付けは、水気・湿気が入り感電・落下の原因)